

「たんぽぽ病院始めました！」

4歳児 たんぽぽ組 9月16日(木) たんぽぽ組保育室



戦いごっこで友達に負けて倒れてしまう先生や子どもたち。そんな時、お医者さんがいれば…。

遊びの中でお医者さんごっこが誕生！さっそく、診察室や待合室を作り、患者さんを迎える準備をしました。教師が言わなくても待合室にイスを並べる姿は、日常生活でよく病院を観察しているからこそですね。

さあ、今日はどんな患者さんが来るのでしょうか～！



初めは、病院ごっことお家ごっこを分けて遊べるように環境を作っていましたが、お家ごっこを入院場所に変更したことで、遊びのイメージも広がり、まざってくる幼児の姿も見られました。また、出張診療もしたことで、友達とのつながりももてるよう進めてみました。

<保育の振り返り>

- 病院ごっこやお医者さんに興味のある幼児たちだけでなく、別の遊びをしていた幼児も巻き込み、友達同士のかかわりを楽しめるような援助ができた。
- 遊びにまざりたそうな幼児を教師が受け入れて遊べるようにしたが、そこで遊んでいる幼児にとっては「まぜて」を言っていないのにまざっていることを不満に思っているのが分かった。まざるときはやり取りも考えて援助するべきだったと反省。

<育ちの芽生え>

- ⑥思考力の芽生え
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現